

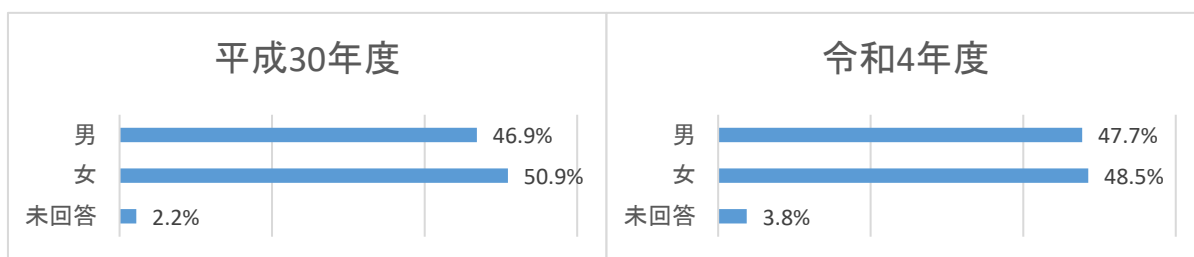
問1 あなたのお住まいはどちらですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
市内	585	99.0%	503	99.6%
市外	3	0.5%	0	0.0%
未回答	3	0.5%	2	0.4%
計	591	100.0%	505	100.0%



問2 性別はどちらですか。

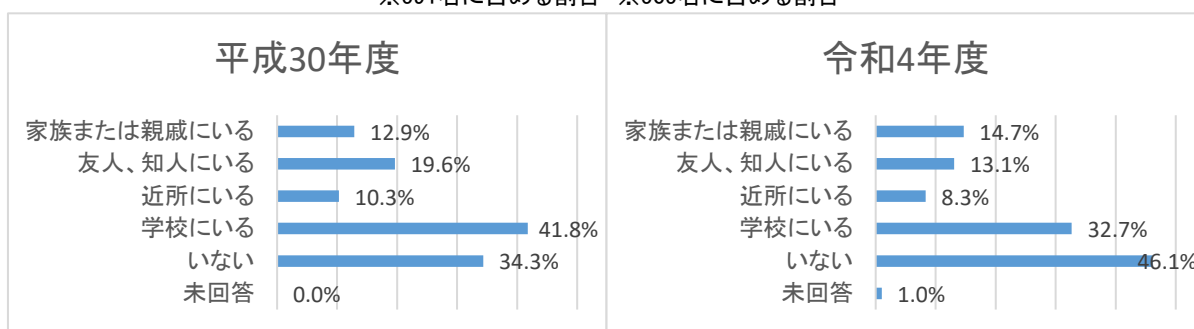
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
男	277	46.9%	241	47.7%
女	301	50.9%	245	48.5%
未回答	13	2.2%	19	3.8%
計	591	100.0%	505	100.0%



問3 あなたのまわりに障害のある人はいますか。(複数回答)

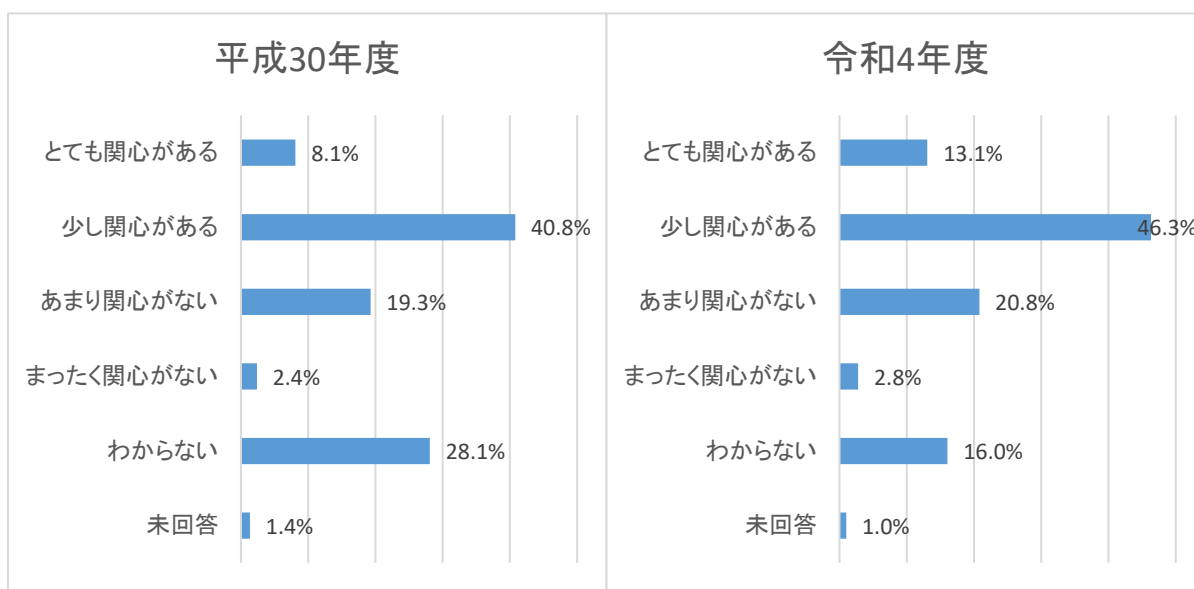
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
家族または親戚にいる	76	12.9%	74	14.7%
友人、知人にいる	116	19.6%	66	13.1%
近所にいる	61	10.3%	42	8.3%
学校にいる	247	41.8%	165	32.7%
いない	203	34.3%	233	46.1%
未回答	-	-	5	1.0%
総数	703		585	

※591名に占める割合 ※505名に占める割合



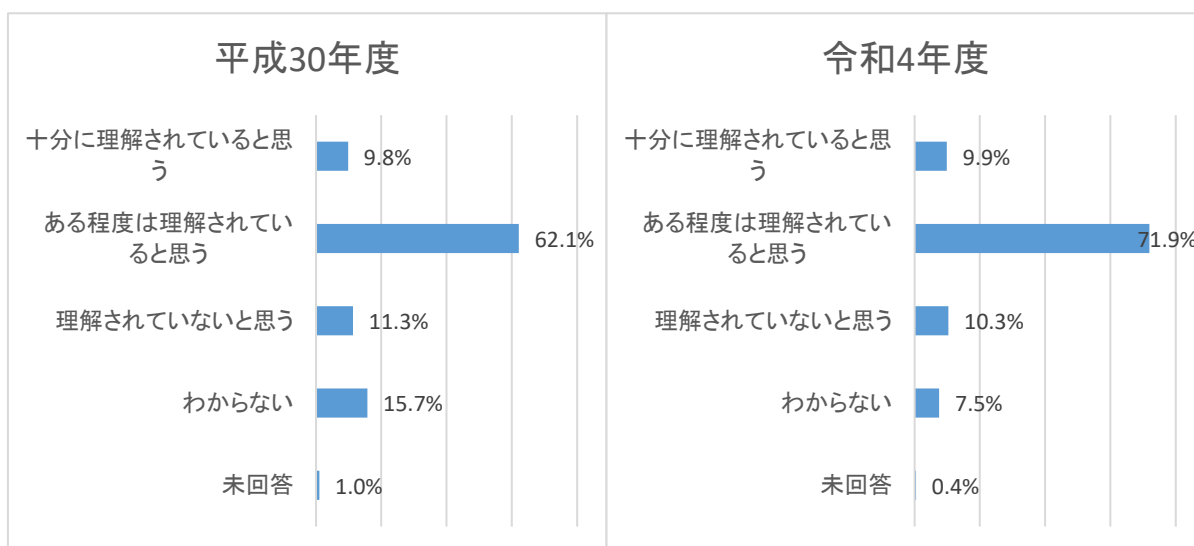
問4 あなたは障害のある人たちのことに関心がありますか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
とても関心がある	48	8.1%	66	13.1%
少し関心がある	241	40.8%	234	46.3%
あまり関心がない	114	19.3%	105	20.8%
まったく関心がない	14	2.4%	14	2.8%
わからない	166	28.1%	81	16.0%
未回答	8	1.4%	5	1.0%
計	591	100.0%	505	100.0%



問5 障害のある人たちのことは人々に理解されていると思いますか。

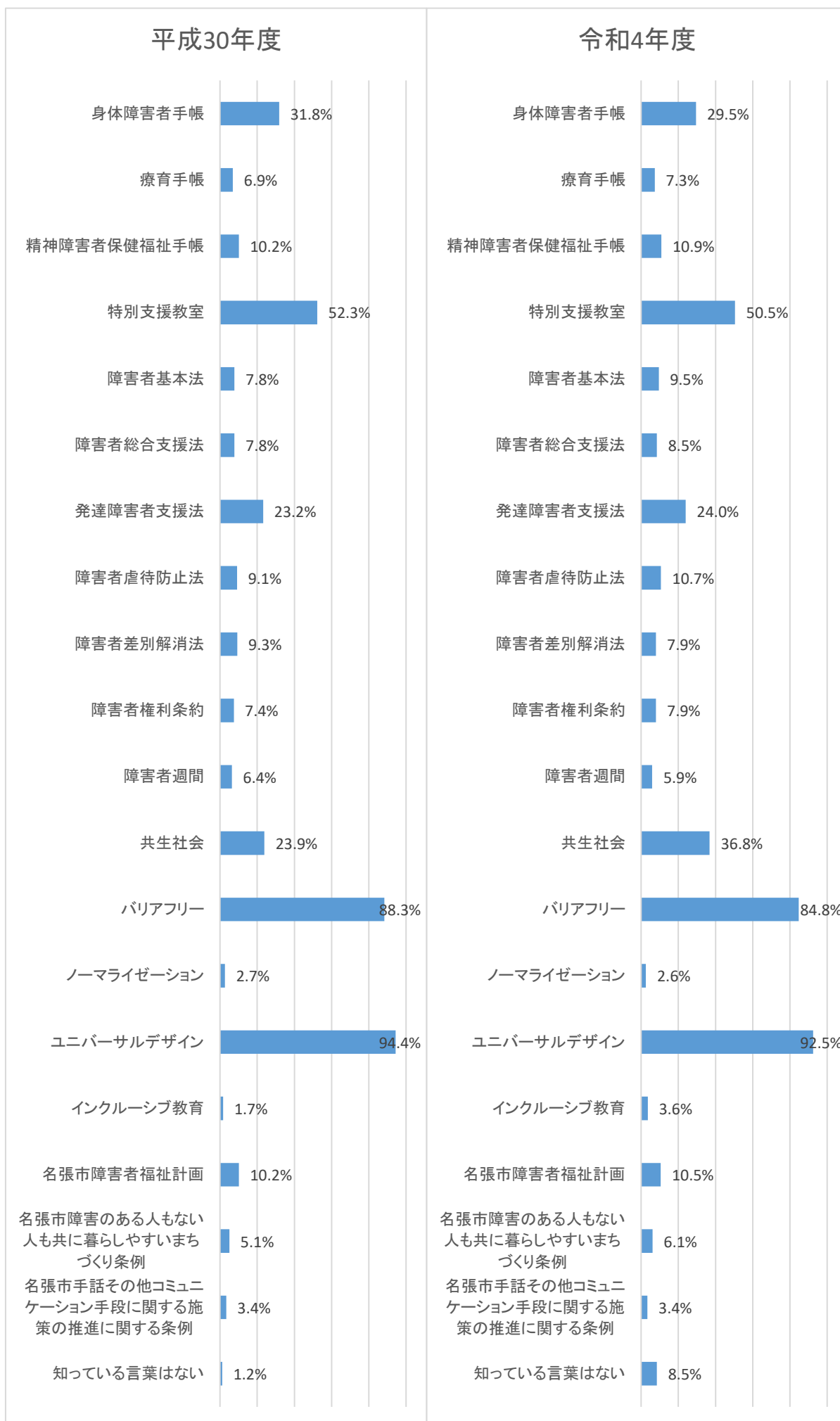
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
十分に理解されていると思う	58	9.8%	50	9.9%
ある程度は理解されていると思う	367	62.1%	363	71.9%
理解されていないと思う	67	11.3%	52	10.3%
わからない	93	15.7%	38	7.5%
未回答	6	1.0%	2	0.4%
計	591	100.0%	505	100.0%



問6 障害者福祉に関する言葉のうち、あなたが知っている言葉はどれですか。(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
身体障害者手帳	188	31.8%	149	29.5%
療育手帳	41	6.9%	37	7.3%
精神障害者保健福祉手帳	60	10.2%	55	10.9%
特別支援教室	309	52.3%	255	50.5%
障害者基本法	46	7.8%	48	9.5%
障害者総合支援法	46	7.8%	43	8.5%
発達障害者支援法	137	23.2%	121	24.0%
障害者虐待防止法	54	9.1%	54	10.7%
障害者差別解消法	55	9.3%	40	7.9%
障害者権利条約	44	7.4%	40	7.9%
障害者週間	38	6.4%	30	5.9%
共生社会	141	23.9%	186	36.8%
バリアフリー	522	88.3%	428	84.8%
ノーマライゼーション	16	2.7%	13	2.6%
ユニバーサルデザイン	558	94.4%	467	92.5%
インクルーシブ教育	10	1.7%	18	3.6%
名張市障害者福祉計画	60	10.2%	53	10.5%
名張市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちづくり条例	30	5.1%	31	6.1%
名張市手話その他コミュニケーション手段に関する施策の推進に関する条例	20	3.4%	17	3.4%
知っている言葉はない	7	1.2%	43	8.5%
総数	2382		2128	

※591名に占める割合 ※505名に占める割合

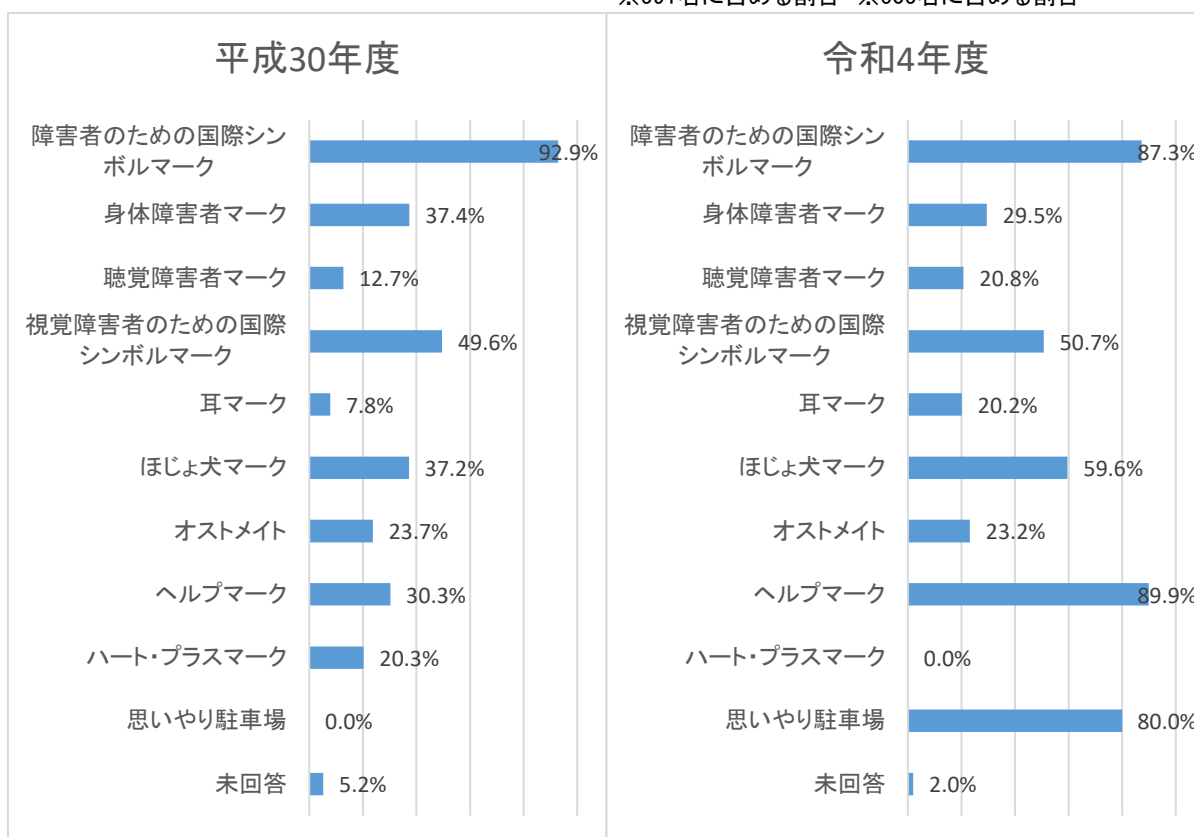


問7 次の障害者に関するマークを知っていますか。(複数回答)

障害者のための国際シンボルマーク		障害者が利用できる建物、施設であることを表すマーク。全ての障害者が対象
身体障害者マーク		肢体不自由(手や足に障害がある)を理由に免許に条件が付いている人が運転する車に表示するマーク
聴覚障害者マーク		聴覚障害(耳が聞こえない、または聞こえにくい)を理由に免許に条件がある人が運転する車に表示するマーク
視覚障害者のための国際シンボルマーク		視覚障害者(目が見えない、見えにくい人)の安全やバリアフリーについてよく考えられた建物、設備、機器を示すマーク
耳マーク		耳の聞こえが不自由なことを表すマーク
ほじょ犬マーク		身体障害者補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)と施設に入ってよいことを知ってもらうマーク
オストメイト		がんの手術で肛門やぼうこうを切り取り、お腹に便や尿などを出す穴をつくった人(オストメイト)のための設備を示すマーク
ヘルプマーク		見た目で見えない、障害のある人や病気の人などが、困ったときに周囲へ示し支援や理解を求めやすくするマーク
ハート・プラスマーク		内部障害者を示すマーク
思いやり駐車場		障害者や妊娠中の方など、歩くのが大変な方が駐車場からの移動をスムーズにできるように考えられた駐車場のマーク

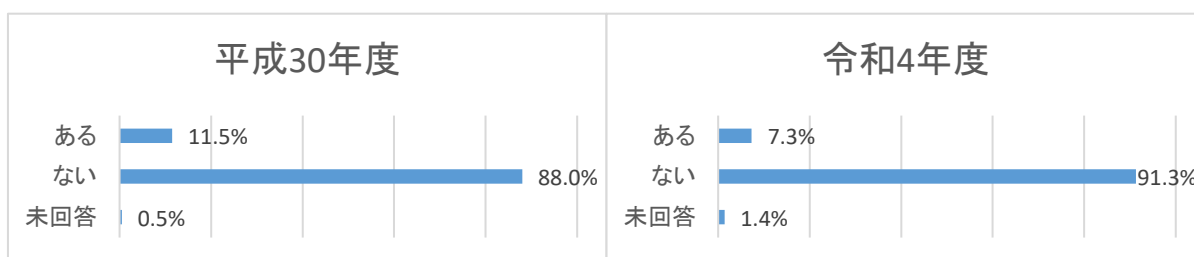
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
障害者のための国際シンボルマーク	549	92.9%	441	87.3%
身体障害者マーク	221	37.4%	149	29.5%
聴覚障害者マーク	75	12.7%	105	20.8%
視覚障害者のための国際シンボルマーク	293	49.6%	256	50.7%
耳マーク	46	7.8%	102	20.2%
ほじょ犬マーク	220	37.2%	301	59.6%
オストメイト	140	23.7%	117	23.2%
ヘルプマーク	179	30.3%	454	89.9%
ハート・プラスマーク	120	20.3%	-	-
思いやり駐車場	-	-	404	80.0%
未回答	31	5.2%	10	2.0%
総数	1874		2339	

※591名に占める割合 ※505名に占める割合



問8 あなたは障害のある人に対するボランティア活動に参加したことがありますか。

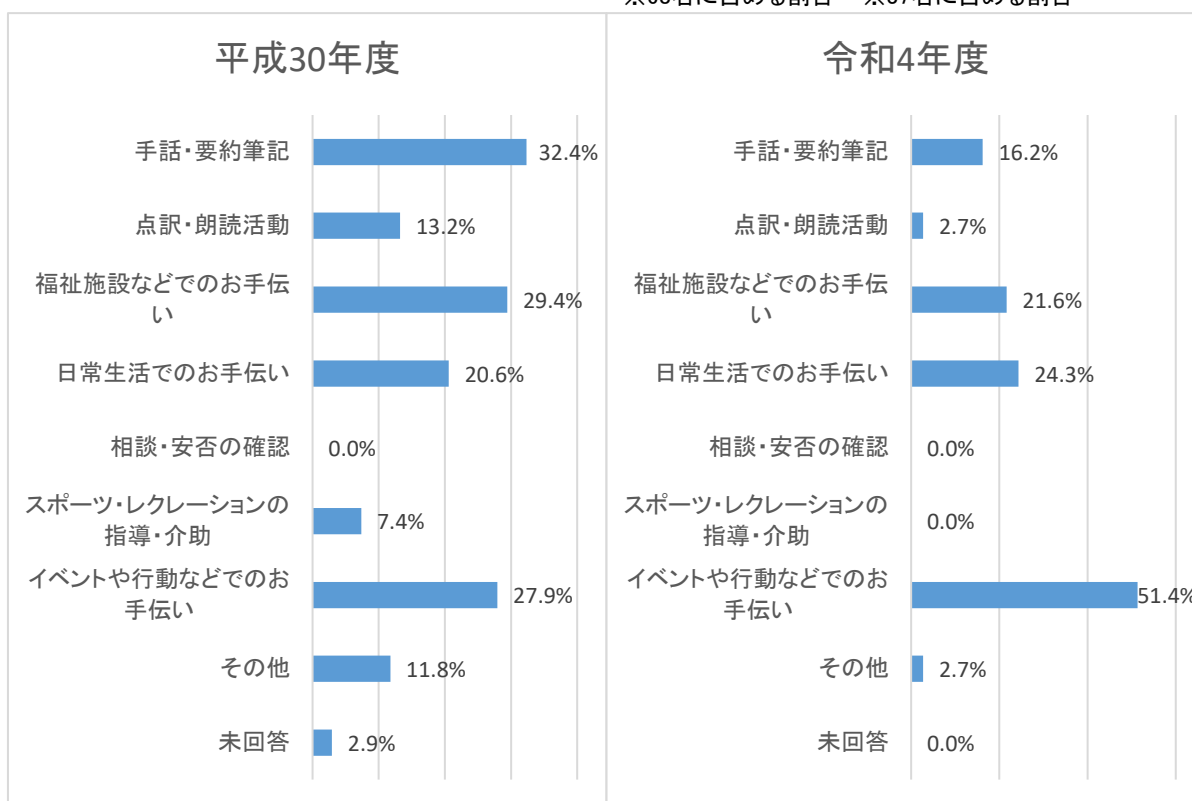
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
ある	68	11.5%	37	7.3%
ない	520	88.0%	461	91.3%
未回答	3	0.5%	7	1.4%
計	591	100.0%	505	100.0%



問9 問8で「ある」に○をつけられた人にお伺いします。どのようなボランティア活動に参加しましたか。
(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
手話・要約筆記	22	32.4%	6	16.2%
点訳・朗読活動	9	13.2%	1	2.7%
福祉施設などでのお手伝い	20	29.4%	8	21.6%
日常生活でのお手伝い	14	20.6%	9	24.3%
相談・安否の確認	0	0.0%	0	0.0%
スポーツ・レクリエーションの指導・介助	5	7.4%	0	0.0%
イベントや行動などのお手伝い	19	27.9%	19	51.4%
その他	8	11.8%	1	2.7%
未回答	2	2.9%	-	-
総計	99		44	

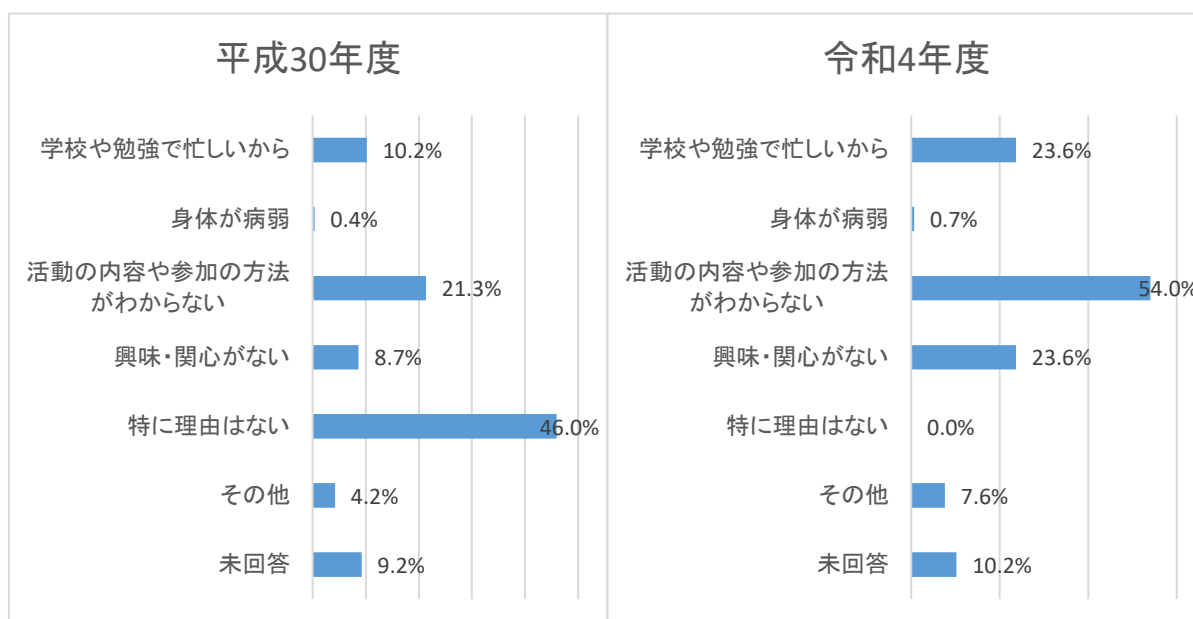
※68名に占める割合 ※37名に占める割合



問10 問8で「ない」に○をつけた人にお伺いします。ボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。(令和4年度は複数回答)

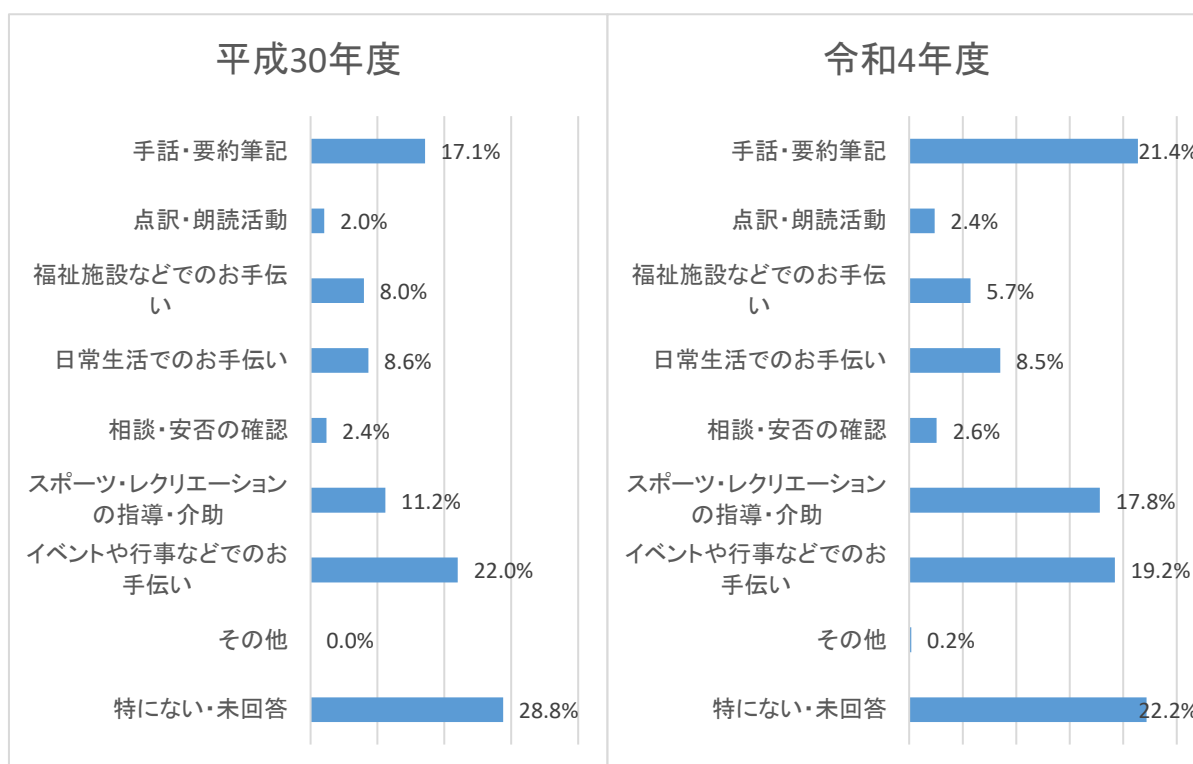
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
学校や勉強で忙しいから	53	10.2%	109	23.6%
身体が病弱	2	0.4%	3	0.7%
活動の内容や参加の方法がわからない	111	21.3%	249	54.0%
興味・関心がない	45	8.7%	109	23.6%
特に理由はない	239	46.0%	-	-
その他	22	4.2%	35	7.6%
未回答	48	9.2%	47	10.2%
計	520	100.0%	552	

※520名に占める割合 ※461名に占める割合



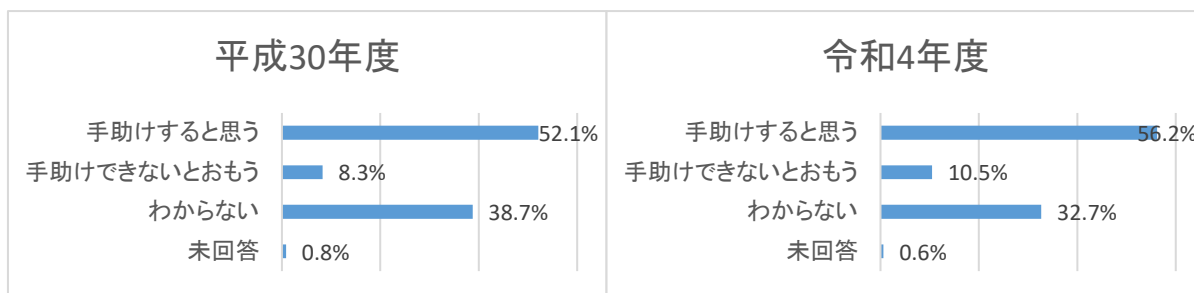
問11 あなたがこれから一番してみたいボランティア活動はどれですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
手話・要約筆記	101	17.1%	108	21.4%
点訳・朗読活動	12	2.0%	12	2.4%
福祉施設などのお手伝い	47	8.0%	29	5.7%
日常生活でのお手伝い	51	8.6%	43	8.5%
相談・安否の確認	14	2.4%	13	2.6%
スポーツ・レクリエーションの指導・介助	66	11.2%	90	17.8%
イベントや行事などのお手伝い	130	22.0%	97	19.2%
その他	0	0.0%	1	0.2%
特になし・未回答	170	28.8%	112	22.2%
計	591	100.0%	505	100.0%



問12 災害が起こった時に障害のある人が困っていたら、あなたは手助けをしますか。

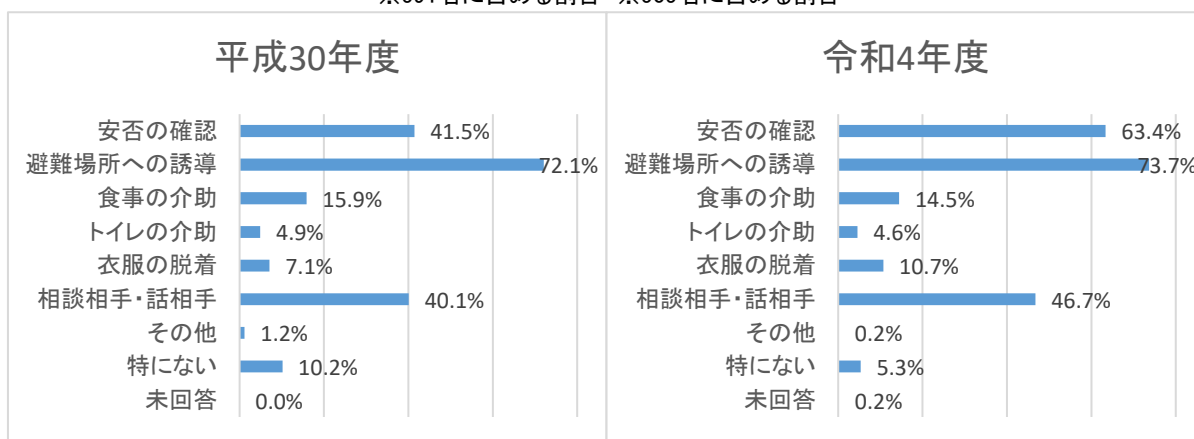
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
手助けすると思う	308	52.1%	284	56.2%
手助けできないとおもう	49	8.3%	53	10.5%
わからない	229	38.7%	165	32.7%
未回答	5	0.8%	3	0.6%
計	591	100.0%	505	100.0%



問13 災害時に、障害のある人に対してどのようなことができますか。(複数回答)

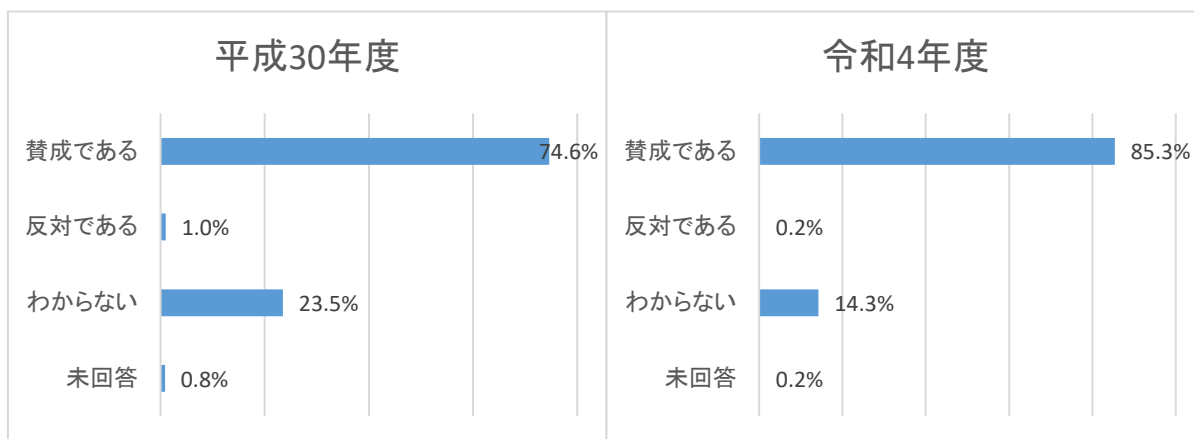
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
安否の確認	245	41.5%	320	63.4%
避難場所への誘導	426	72.1%	372	73.7%
食事の介助	94	15.9%	73	14.5%
トイレの介助	29	4.9%	23	4.6%
衣服の脱着	42	7.1%	54	10.7%
相談相手・話相手	237	40.1%	236	46.7%
その他	7	1.2%	1	0.2%
特にない	60	10.2%	27	5.3%
未回答	-	-	1	0.2%
総計	1140		1107	

※591名に占める割合 ※505名に占める割合



問14 名張市が「福祉のまちづくり」を進めていくことについてどうおもいますか？

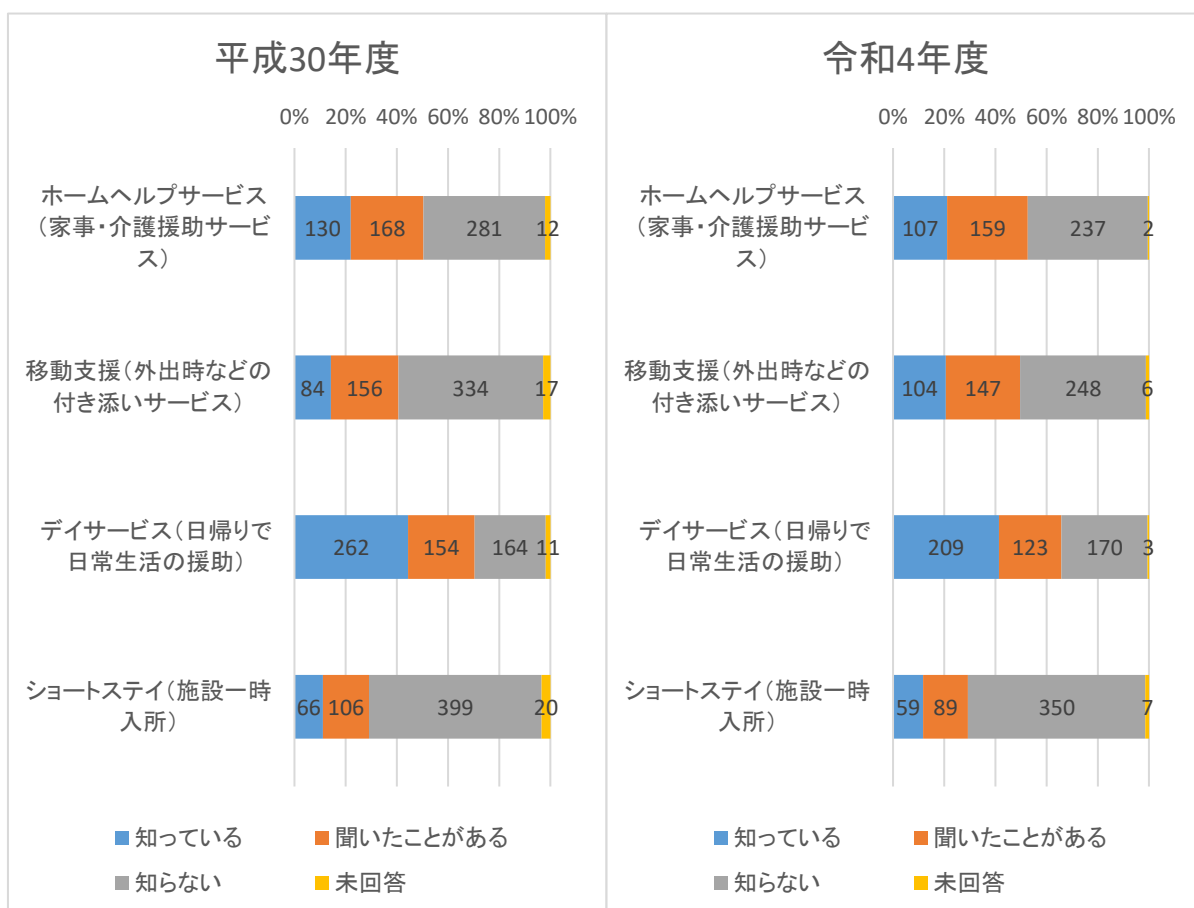
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
賛成である	441	74.6%	431	85.3%
反対である	6	1.0%	1	0.2%
わからない	139	23.5%	72	14.3%
未回答	5	0.8%	1	0.2%
計	591	100.0%	505	100.0%



問15 現在、国や三重県、名張市が行っている障害者福祉サービスを知っていますか。

項目	平成30年度				
	知っている	聞いたことがある	知らない	未回答	計
ホームヘルプサービス(家事・介護援助サービス)	130	168	281	12	591
移動支援(外出時などの付き添いサービス)	84	156	334	17	591
デイサービス(日帰りで日常生活の援助)	262	154	164	11	591
ショートステイ(施設一時入所)	66	106	399	20	591

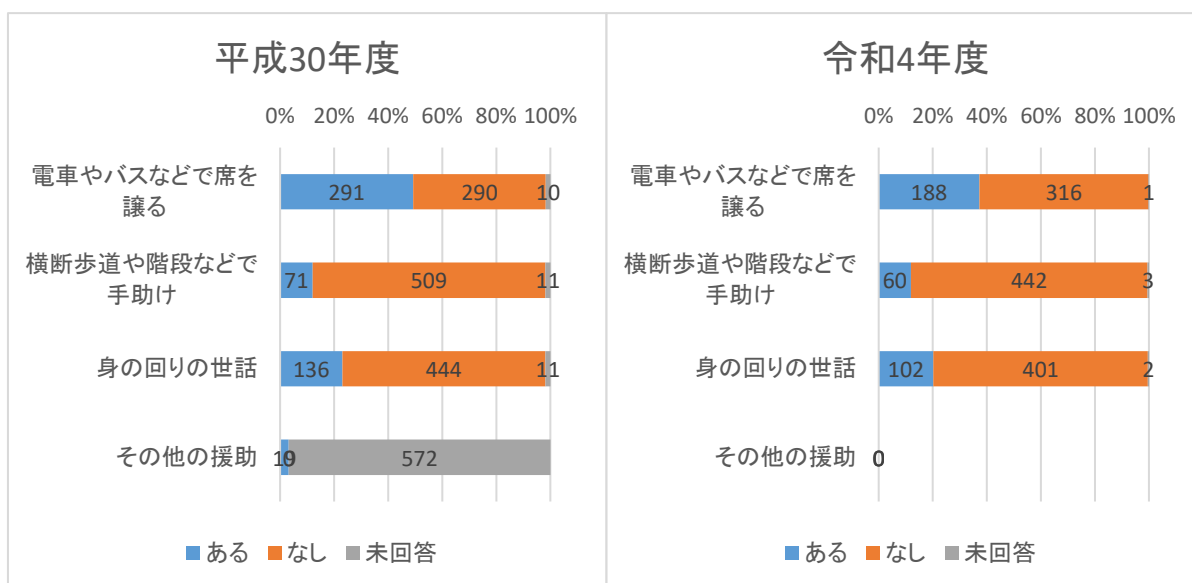
項目	令和4年度				
	知っている	聞いたことがある	知らない	未回答	計
ホームヘルプサービス(家事・介護援助サービス)	107	159	237	2	505
移動支援(外出時などの付き添いサービス)	104	147	248	6	505
デイサービス(日帰りで日常生活の援助)	209	123	170	3	505
ショートステイ(施設一時入所)	59	89	350	7	505



問16 あなたは障害のある人のために次のようなことをしたことがありますか。

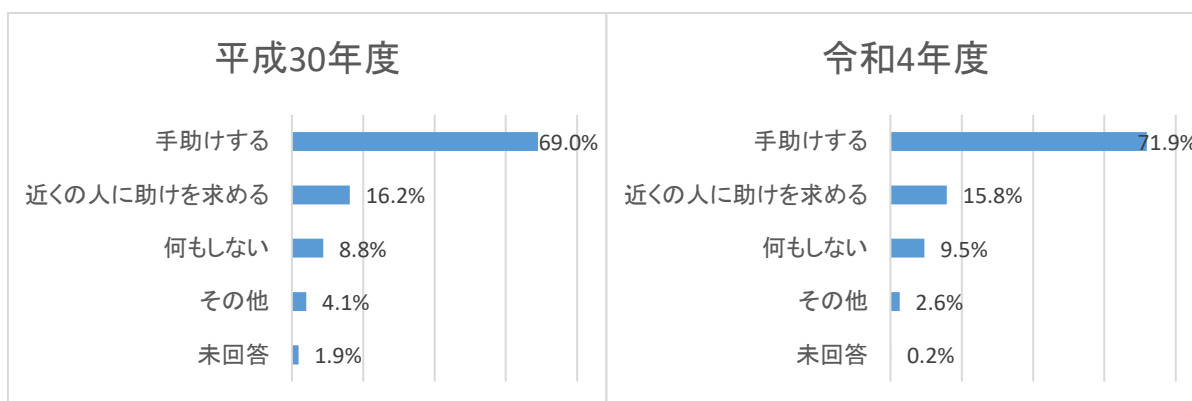
項目	平成30年度			
	ある	なし	未回答	計
電車やバスなどで席を譲る	291	290	10	591
横断歩道や階段などで手助け	71	509	11	591
身の回りの世話	136	444	11	591
その他の援助	19	0	572	591

項目	令和4年度			
	ある	なし	未回答	計
電車やバスなどで席を譲る	188	316	1	505
横断歩道や階段などで手助け	60	442	3	505
身の回りの世話	102	401	2	505
その他の援助	-	-	-	-



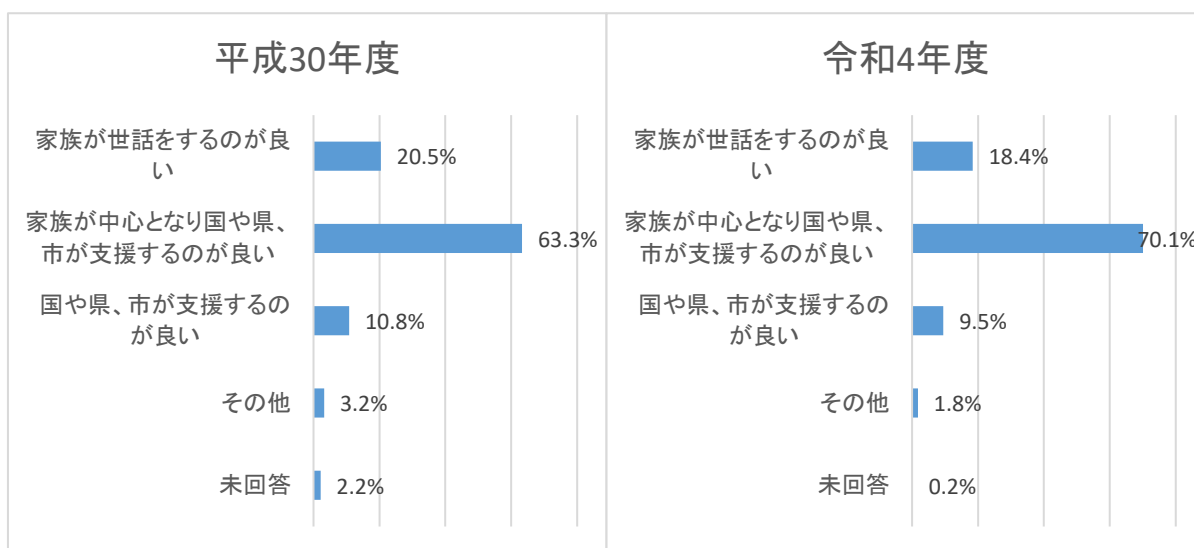
問17 障害のある人たちの困っている場面に出会ったら、あなたはどのようにしますか？

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
手助けする	408	69.0%	363	71.9%
近くの人に助けを求める	96	16.2%	80	15.8%
何もしない	52	8.8%	48	9.5%
その他	24	4.1%	13	2.6%
未回答	11	1.9%	1	0.2%
計	591	100.0%	505	100.0%



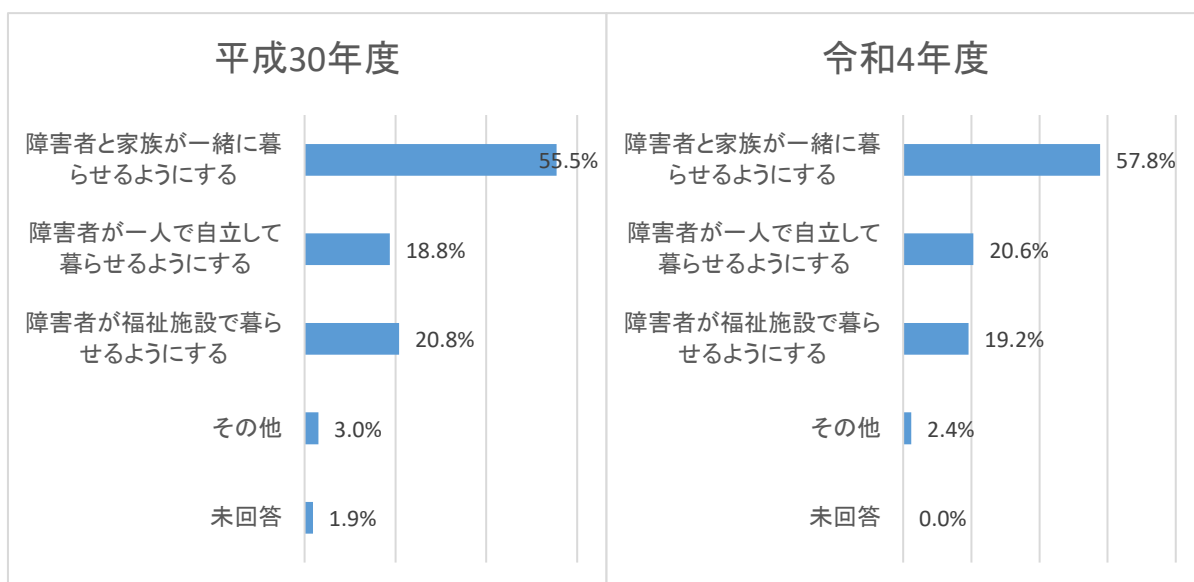
問18 障害のある人たちの身の回りの世話はだれがするのがよいと思うか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
家族が世話をするのが良い	121	20.5%	93	18.4%
家族が中心となり国や県、市が支援するのが良い	374	63.3%	354	70.1%
国や県、市が支援するのが良い	64	10.8%	48	9.5%
その他	19	3.2%	9	1.8%
未回答	13	2.2%	1	0.2%
計	591	100.0%	505	100.0%



問19 国や三重県や名張市が障害のある人たちの暮らしを支援していくためには次のどれがよいと思いますか

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
障害者と家族と一緒に暮らせるようにする	328	55.5%	292	57.8%
障害者が一人で自立して暮らせるようにする	111	18.8%	104	20.6%
障害者が福祉施設で暮らせるようにする	123	20.8%	97	19.2%
その他	18	3.0%	12	2.4%
未回答	11	1.9%	0	0.0%
計	591	100.0%	505	100.0%



問20 障害のある人たちが暮らしやすくなるためには名張市内の建物や道路や交通機関をどのように変えていけばよいと思うか？（複数回答）

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
障害者にも使いやすい道路の整備	453	76.6%	418	82.8%
障害者にも使いやすい公共施設の改良	408	69.0%	340	67.3%
障害者の安全通行のための配慮	358	60.6%	355	70.3%
障害者のための信号や標識の設置	309	52.3%	317	62.8%
障害者のための駐車場の確保	259	43.8%	282	55.8%
障害者のための交通移動手段の充実	361	61.1%	333	65.9%
その他	9	1.5%	3	0.6%
未回答	18	3.0%	2	0.4%
総計	2175		2050	

※591名に占める割合 ※505名に占める割合

